

講演で組合員の意識向上を図る
 県労働福祉協議会
 四十三回研究集会は二十七日、須賀代町のリー
 ト・インはなりで開かれ、講演ならを道して組織の強化と華下団体の組合員への意識向上に努めた。

須賀代町、県教員、県労会、全労済をはじめ加盟団体から合わせて約百人が出席した。フリーアナウンサーの油井麻理さんが「ホメ上手は話し上手のテーマで講演した。続いて福島中央市民院院長上松川隆彦氏の春日里之所長が実態現場から見た働く人の健康状態と今後の医療動向について解説。終了後は交流・懇談会を開いた。

2007. 11. 28
 福島民報

県労働福祉協議会
 研究集会通して職場環境考える
 須賀代で県労働福祉協議会
 四十三回研究集会は二十七日、須賀代町のリー
 ト・インはなりで開かれ、出座者が職場環境や健康意識などについて理解を深めた。

相互扶助の精神による会員の生活と福祉向上を目指す。加盟各団体の組合員の意識向上を図ろうと毎年開催している。

加盟している労働団体や労働福祉事業団で指導的な立場にある約百十人が出席した。

フリーアナウンサーの油井麻理さんが「ホメ上手は話し上手」をテーマに講演した。

2007. 11. 29
 福島民報

井原博さんが「ホメ上手は健康状態と今後の医療動向」をテーマに講演した。春日里之所長が「実態現場から見た労働者の健康状態と今後の医療動向について解説。終了後は交流・懇談会を開いた。